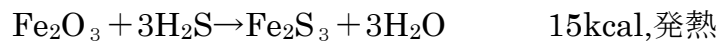


乾式脱硫剤 N-IDS

I. N-IDS の脱硫反応

N-IDS の脱硫の主反応は酸化鉄と硫化水素の化学反応です。



理論量として、自重の最大 32%程度の硫化水素を吸収できます。

実際に使用した場合の硫化水素吸収量は、その使用条件
[硫化水素濃度(分圧)・空間速度(S.V.)、酸素濃度など] によって異なります。

II. N-IDS の脱硫特性

N-IDS の硫化水素吸収能力は、次の各因子によって決まります。

1. 硫化水素濃度： N-IDS の硫化水素吸収能力は、ガス中の硫化水素濃度(分圧)によって左右されます。
一般に、高い入口硫化水素濃度のほうが、大きな吸収能力を示します。
2. 温度： 一般に 10~60°Cのガス温度下で使用されています。
3. 圧力： 一般に常圧下で使用します。
工業プラント等では加圧下でも使用出来ます。
4. 空間速度： 空間速度は、硫化水素吸収能力に大きく影響します。低い空間速度(長いガス接触時間)で使用する程吸収性能を高めます。



環境資材営業部

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-10-5 日産江戸橋ビル
TEL (03) 3241-0208 / FAX (03) 3241-6748

Ⅲ. N-IDS の使用方法

1. 充填時の注意事項

- a) 脱硫塔に充填する場合、粉化を避けるため60cm以上の高さから落下させないで下さい。
- b) 充填に際しやむを得ず脱硫塔内で作業する場合、脱硫剤を直接踏みつけないようにして下さい。
脱硫剤が崩壊した場合、ガスの偏流や圧力損失の増大を招き、脱硫効果の低下原因となります。
- c) 本製品は使用前に特別な前処理を必要としません。
なお、脱硫塔内の空気を窒素ガスで置換し酸素阻害を防ぐことにより脱硫効率を高めることができます。
- d) 脱硫剤は設定した出口の硫化水素濃度を越えた時点、または設定した期間で定期的に交換します。

2. 交換時の注意事項

- a) 使用済み脱硫剤は取り出し時に大気中の酸素に触れることにより急激に発熱反応を起こし発火する恐れがあります。
十分に吸水させることにより安全に取り扱うことができます。
- b) 加水した使用済み脱硫剤は通常、汚泥として産業廃棄物処理されます。
本製品は水銀、カドミウム、鉛、クロム、ヒ素等は基準以下となっております。ただし、ガス中に有害物質が含まれる場合、脱硫剤に物理吸着し基準値を超えることがあります。
(使用済み脱硫剤の取扱いについては、使用時のガス成分にご注意下さい。)

脱硫剤 N-IDS は、使用目的にあわせ各種タイプを用意しております。
硫化水素除去を検討される際には、弊社までご連絡・ご相談下さい。

*ここで紹介する使用方法、用途などは一例であり、保証事項ではありません。

記載内容は、製品の改良や用途の開発などにより予告なく変更することがあります。

(Print: 22/03/04)